

令和 6 年度 森林環境譲与税の使途について

1. 概要

丹波山村では、令和 6 年度森林環境譲与税が 6,423,000 円交付され、森林整備や木材利用を中心に以下のとおり事業を実施しました。尚、丹波山村森林環境譲与税基金条例に基づき、事業費の一部を基金に積立てており、この基金は今後の森林整備や木材利用等の事業に活用されます。

事業名	事業内容	実施体制	令和 6 年度決算額
森林整備事業	私有林において間伐等の森林整備を実施し、森林環境の向上および公益的機能の発揮を図る	委託	1,771,000 円
木材利用事業	公共施設の木質化等に取り組み、丹波山村産木材や森林資源の活用を行う	委託	1,564,375 円
森林経営管理制度推進	森林経営管理制度を推進するため、森林の状況調査を行う	委託	176,000 円
森林情報整備事業	森林 GIS の整備、更新を行う	委託	220,000 円
基金積立		—	2,691,625 円

2. 森林整備事業（1,771,000 円）

村内の私有林 5.86ha において、間伐や枝打ちといった森林整備を実施しました。本事業では、道路沿いや小規模な山林が密集した地区等、通常の森林整備では対象になりにくい山林を整備することで、森林整備後の効果が高まるような取り組みになっています。



間伐作業の様子

3. 木材利用事業（1,564,375 円）

丹波山村産の間伐材を有効活用するため、丸太の製材および乾燥を行い、木製のノベルティ 1000 個を製作しました。このノベルティは来村者に配布し、丹波山村産材に触れてもらうきっかけづくりに取り組みました。

4. 森林経営管理制度推進（176,000 円）

令和 7 年度に実施する森林経営管理制度による意向調査の準備作業として、丹波山村内の森林全体の調査を実施しました。現地踏査および図面や航空写真の確認を主な調査手法とし、できる限り多くの林班の現況を把握し、調査時の基礎資料づくりに取り組みました。



森林調査の様子（必要に応じて直径の計測等も実施）

5. 森林情報整備事業（220,000 円）

森林管理のために導入している森林 GIS システムについて、情報の更新および保守点検を実施し、令和 5 年度までの森林施業履歴や林地活用状況を整備しました。丹波山村の森林 GIS システムは QGIS ソフトを利用して、様々なデータを取り込むことができ、汎用性が高いことが特徴です。この GIS が整備されることで、森林管理や調査の効率化、精度向上に繋がります。

以上